

=====

【ソフト名】番号案内掲示板PLUS
【バージョン】Ver.260G1
【使用プログラム言語】C#
【動作確認OS】Windows10、Windows11
【必要なもの】.NET Framework4.7.2以上、デュアルモニター環境
場合により 音声読み上げソフト、マイクロソフトアカウント、OneDrive、ネット環境
【ソフト種別】フリーウェア
【禁止事項】転載および二次配布の不可。販売することを禁止します。
【免責事項】本ソフトおよびマニュアルに記載した事項は無償・無保証・無サポートです。
本ソフトを使用し機器、その他に支障が生じても一切の責任をもちません。
【メール】msbunakisa@outlook.jp
【著作】gaku

=====

【番号案内掲示板PLUS Ver.260G1について】

番号案内掲示板PLUSは病院の薬局にあるような「引き換え番号」を表示するソフトです。
必要なものはTVとノートパソコン1台、このフリーソフトだけなので安価に導入が可能です。
操作者の使い勝手を考えメモ機能や表示オーバー警告など色々工夫を盛り込みました。
患者様が見やすいように「大きな文字」の操作タイプや2系統の番号表示が可能なタイプなど
全17種を用意しております。
番号の表示方法は病院によって異なるため3つのモードで対応します(待ち番型、追加型、手動型)
スマホで番号確認が可能です。(OneDriveの機能を使用します)
番号の読み上げが可能です。(別途、クリップボードの読み上げ対応ソフトが必要です)
以前は番号案内掲示板としてフル版とLight版の2つをVectorにアップしていましたが、統合して
PLUS版としました。結果、両者の特徴を引き継いだグラフィカルで多機能なものになりました。

【ソフトの起動】KenKenTyuPLUS260G1.exeをダブルクリックで起動します。

【使用にあたり最低限必要なもの】

- 1)デュアルモニター環境
★★デュアルモニター環境が必須です。★★ モニター1台でも起動はしますが、実用性はあり
ません。(患者用画面と操作画面が重なってしまいます)
モニター1台でも起動するのは機能確認のお試しモードとして用意しています。
- 2) .NET Framework4.7.2以上 が必要です。Windows10以上なら標準で入っていると思われます。
- 3)スマホで確認機能を使う場合はマイクロソフトアカウントとOneDrive、ネット環境が必要です。
OneDriveはWindows10以上なら標準で入っていると思われます。
- 4)番号の読み上げ機能を使う場合は、クリップボードの読み上げ対応ソフトが必要です。

以下の11個を同じフォルダに置くことが**最低限必要**です。

KenKenTyuPLUS260G1.exe	このソフトの実行ファイル。ダブルクリックでソフト起動。
configPLUS260G1.ini	設定ファイル
sample.wav	標準のチャイム音
Scroll_Text200.html	スクロール文のファイル
direction_board.jpg	「スマホで確認」でソフト終了後にWeb上に表示する画像
imgFolder	連続再生時の画像を入れる フォルダ
mp4Video	動画を入れる フォルダ
AxInterop.WMPLib.dll	.NET FrameworkでMedia Playerを利用するためのdll
Interop.WMPLib.dll	.NET FrameworkでMedia Playerを利用するためのdll
SilentPlayerKKT21.exe	無音を再生する実行ファイル(チャイムの音欠け対策)
silent.wav	無音の音源

以上です

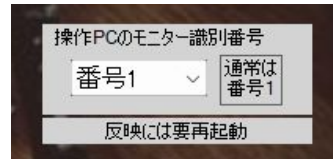
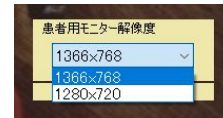
<補足>

- SilentPlayerKKT21.exeとsilent.wavをKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置くことが必須条件です。SilentPlayerKKTはチャイムの音欠け対策ソフトですが設定で起動の有無を選択できます。”起動する”の設定では番号案内ソフト起動時にSilentPlayerKKTも立ち上がり番号案内ソフト終了時には自動で終了します。
- direction_board.jpgはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置く必要があります。この事は「スマホで確認機能」を使わない場合でも必須です。direction_board.jpgは自作が可能です。ファイル名はdirection_board.jpgである必要があります。
- 連続画像表示のためのフォルダimgFolderは（注意：フォルダです。ファイルではありません）中身が空でも構いませんが、KenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置く必要があります。後述する「その他のインストール関連」も参照ください。
- 同様に動画を入れるフォルダであるmp4Video（注意：フォルダです。ファイルではありません）も中身が空で構いません。KenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置く必要があります。「その他のインストール関連」も参照ください。

【PCの設定】

- PCと患者用モニター（TVでも可）をHDMI等でケーブルで繋がります
- PC（操作卓側）の解像度をWindowsから1366*768またはそれ以上（1600x900や1920x1080）に設定してください。1366x768より解像度が高いと余白が出ますがマウスカーソルの動作範囲は小さくします。PC側の拡大と縮小は100%にしてください。それ以外ではレイアウトがくずれる場合があります。
- 患者用モニターをWindowsから「画面を拡張する」にしてください。
- 患者用モニターの解像度をWindowsのディスプレイ設定で1280x720または1366x768に設定して下さい。患者用モニターは上記どちらかの解像度が必須です。拡大と縮小は100%にしてください。
- 次に、本ソフトの設定で（<図16>⑪、右図）患者用モニターの解像度を設定してください。患者用モニターの解像度はWindowsで設定したものと本ソフトで設定する解像度を同じにする必要があります。
- 患者用モニターのタスクバーを非表示にしてください。方法は調べて下さい。さらにスリープOFF、モニター常時電源ON、不要な通知のOFFなどの設定が必要です。スリープ移行抑止、モニター常時電源ONをプログラムに組み込みましたが念のため手動で設定することを推奨します。（通知OFFなどは手動設定が必要）
- タスクバーにあるスピーカーマークをクリックし再生デバイスを選択します。ここでチャイム音をTVから出すかPCから出すのかを指定します。（通常はTVでしょうか）
- PCの構成によって稀に操作卓PCモニターが識別番号2、患者用モニターが識別番号1になることがあります（Windows仕様）このような場合に患者用画面には何も表示されません。これは患者用画面と操作卓画面が重なってしまうためですが、このことが原因ならば以下の操作で改善します。本ソフトの設定から右図にある「操作PCのモニター識別番号」を「番号2」に変えて本ソフトを再起動してください。設定（図16-⑬）の説明も参照ください。
- チャイム音をサンプルとして1つ付けました。（自宅のチャイム音を加工）この他に2つの音を追加できますがフリー音源の多くが二次配布禁止または不明のため添付できません。ユーザー様をご用意ください。その際は利用規約を遵守ください。音源を再生できるのはWAVのみです。MP3などは変換が必要です。MP3→WAVの変換方法はユーザー様が調べてください。ファイル名は必ずchime10.wav、またはchime20.wavにしてKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ

表示スケールの詳細設定



フォルダに置いて下さい。

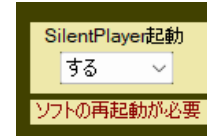
フリーの音源はジングルやチャイムとしてWEB上に多数あります。

<参考>以下のVSQplus+様のジングルの「ベル2」や「琴1」など。(MP3→WAV **要変換**)

「ベル2」: VSQplus+ へ行き**サイト内の検索欄**で **ベル** を検索→ベル2

「琴1」: VSQplus+ へ行き**サイト内の検索欄**で **琴** を検索→琴1

- ・本ソフトに限らずHDMI経由でTVから音を出すと、場合により再生直後の0.5秒程度だけ音が出ないことがあるようです。本ソフトでもチャイム音に同様の症状を確認しました。その対応策を調べると無音を出し続ける方法があると知り、作成したのがSilentPlayerKKTです。本ソフトではSilentPlayerKKTをデフォルトで”起動する”にしているのですが、不要な場合は設定(図16-②②)から変更してください。



【注意】本ソフトではSilentPlayerKKT21.exeを**スタートアップに登録しない**でください。

●【その他のインストール関連】

◎静止画を表示する操作卓の設定

静止画を表示可能な操作卓タイプがあります。(下図A)(下図D)

1枚の画像を表示する機能と複数画像を連続再生する機能から選べます。

(1) 一枚の画像を表示する機能

- ・操作卓○○型**Picture**(下図A)で静止画を表示するには、表示する画像名を infopic**10**.jpg

infopic**20**.jpg、infopic**30**.jpg にする必要があります。(下図B)②

設定で(下図C、図16-⑫)infopic10.jpg～30の中から選ぶと患者画面に表示されます。

また、infopic10.jpg～30はユーザー様が作成可能です。

その際は解像度に注意してください。

infopic10.jpg～30は解像度が1280x1400ドットまたはこの比率(W/H=0.914)たど隙間なく表示されます。

- ・操作卓4分割(下図D)で画像表示するにはファイル名をinfopic**A**.jpg、infopic**B**.jpg、infopic**C**.jpg にする必要があります。これをKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置きます(下図B)④

操作卓4分割の場合は設定(下図E、図16-⑪)でinfopicA.jpg～infopicC.jpg のいずれかを選ぶと画面に表示されます。

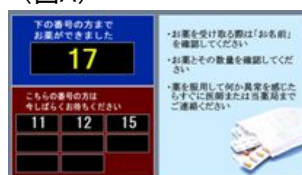
またinfopicA.jpg～Cはユーザー様が作成可能です。infopicA.jpg～Cは解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)たど隙間なく表示されます。

表示領域に合わせて拡大縮小しますが上記比率でない場合、隙間を黒背景にします。

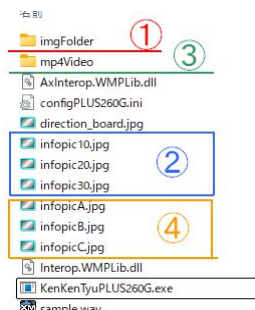
画像はjpgである必要があります。

Infopic?.jpgが存在しなくとも設定画面で選べてしまいがちですがエラーにはなりません。

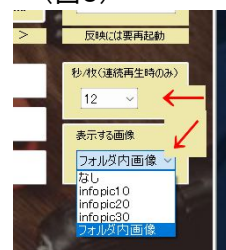
(図A)



(図B)



(図C)



(図D)



(図E)



(2)複数画像を連続ループ再生する機能

- ・操作卓○○型Picture(上図A)で連続画像表示をするにはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ(上図B)①の中に画像ファイルを入れ、本ソフトの設定(上図C、図16-⑫)で”フォルダ内画像”を指定する必要があります。
連続再生は**ファイル名の昇順**でループ再生されます。
サンプルではファイル名をimgSample_風景01.jpg 次にimgSample_風景02.jpg・・・としています。
こうすれば01→02→03→・・・の順で再生され最後は01に戻りループします。
画像は解像度が1280x1400ドットまたは比率(W/H=0.914)だと隙間なく表示されます。
画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=0.914)でない場合は黒い背景が入ります。

なお、再生可能な画像形式はjpgのみです。

また、連続再生時の1枚あたりの表示時間を設定できます。(上図C、図16-⑪)

サンプルでは風景写真の連続再生を用意しましたがユーザー様が紙芝居形式の画像を用意すれば、たとえば「くすりの豆知識」などの情報を紙芝居形式で提供可能と思います。

- ・操作卓4分割(上図D)緑矢印で連続画像表示をするためにはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ(上図B)①の中に画像ファイルを入れ、本ソフトの設定で連続画にする必要があります。(上図E 緑矢印)
連続画の指定は4ヶ所のうち1ヶ所だけ可能です。
連続再生時の1枚あたりの表示時間は(上図C、図16-⑫)で設定します。
画像は解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)だと隙間なく表示されます。
画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=2.08)でない場合は黒い背景が入ります。
再生可能な画像形式はjpgのみです。

◎動画を表示する操作卓の設定

ビデオ表示が可能な操作タイプを用意しました(下図)。再生できる動画は mp4 のみです。

動画ファイルはソフト起動時から再生が始まりループ再生します。

複数の動画ファイル再生の場合は、ファイル名の昇順で再生されます。

動画は自動的に比率を維持した最大表示に拡大縮小されます。



動画再生はmp4Videoフォルダ(右図)の③の中にmp4ファイルを入れる必要があります。

またmp4Videoフォルダ③は

KenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置く必要があります。

<備考>

動画の最初の約10秒間、患者画面に動画が**表示されない**現象が生じました。

調べてみると、私がサイズを小さくするツールで圧縮した動画がほとんどでした。

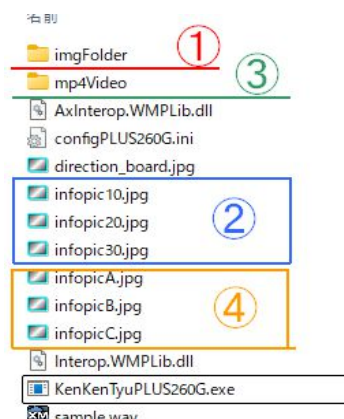
圧縮せず動画の編集でカット・結合だけの場合この症状は出ませんでした。

これは私の環境に依存するのかもしれませんが。

別件で操作卓に患者画面を縮小した部分の表示が

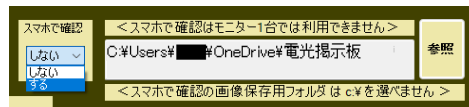
うまくいかない場合があります。(色が変わったり、コメントが表示されないなど)

この症状は起動時が多いですが番号を1回でも入力すれば正常に表示されます。



◎スマホで番号確認機能の設定

この機能はスクリーンショットした患者画面を、指定したPCのOneDriveフォルダ内に書き出し、OneDriveを使ってネットに公開し、スマホで確認できるようにしています。



Win10にはOneDriveが標準でインストールされているので、まずはOneDriveを使える状態にします。そのためにはネット環境とマイクロソフトアカウントが必要です。

本ソフトの設定(上図、図16-⑭)でスマホで確認を「する」にします。

さらに設定(上図、図16-⑮)で、このPCのOneDriveフォルダ内に作った任意の**フォルダ**を指定し、フォルダに書き出したスクリーンショット画像を**公開**します。

マニュアルの最後半に、セットアップ例を記載しています。(あくまで**参考**として)

また、設定の図16-⑮の説明も参照ください。

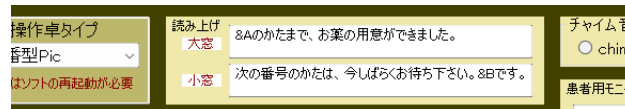
★ただし**スマホで確認機能**はセキュリティの観点から**推奨をしません**。

十分に検討を行い**自己責任**で使用してください。**セキュリティに留意ください★**

◎音声読み上げ機能の設定

操作卓画面(A)

設定画面(B) 図16-⑳を抜粋



番号案内の音声読み上げが可能になりました。

そのためには**クリップボードの読み上げ**が可能なソフトが**別途必要**です。

作成にあたり無料の“棒読みちゃん v0.1.11.0 Beta21”を使用しました。他にも同様のソフトがあるようですが、他のソフトでの動作確認は行っておりません。

本ソフトは患者画面が更新されると内容をテキストにします。操作卓の**ロボットボタン**(上図A)を押すとそれをクリップボードにコピーするので棒読みちゃんが**読み上げ**をします。

・設定方法

読み上げソフトをインストールします。**クリップボード監視機能を有効**にし必要に応じてスタートアップに登録して下さい。勿論ソフトが起動していなければ読み上げしません。

次に本ソフトの設定、上図(B)の読み上げ-大窓と小窓の部分に文章を登録します。

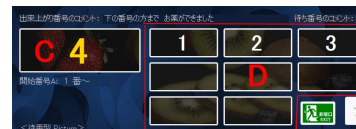
設定例(大窓):

画面の大窓(右図C)に表示される番号を **&A**

とします。(&Aは半角) &Aは読み上げ時に

数字に置き換えられます。ゆえに待ち番型の

登録文は “**&A**のかたまで、お薬の用意ができました。” のようになるでしょう。(上図B)



設定例(小窓): (操作卓16窓と4分割では大窓の文章のみを使います。小窓は使いません)

画面の小窓に表示される番号(上図D)を **&B** とし、読み上げ時に実際の数字に置き換

えます。8つ数字がある場合は1番、2番・・・と読み上げます。(注意:&Bは半角)

ゆえに待ち番型での設定は“次の番号のかたは、今しばらくお待ち下さい。**&B**です。” のようになるでしょう。(上図B)

もしも追加型ならば登録文を “さらに、次の番号のかたも出来ています。**&B**です。” のように変更して下さい。

設定に読み上げ文章を登録していない場合、または句読点のみの場合は読み上げをしません。

●その他の機能や特徴

- 番号は開始番号を設定することで「1番から9999番」まで可能です。
待ち番型では出来上がりが遅れている番号を大きい数字から8つまで表示可能で追加型では追加出来上がり番号を小さい番号から8つまで表示可能です。(一部を除く)
- Picture表示3タイプでは複数画像の連続表示や単独画像表示が可能です。
- 設定により、表示コメントや音、スクロール文章、点滅回数などを変更可能です。
- 待ち時間の表示が可能です。
- 番号の読み上げが可能です(棒読みちゃんのようなクリップボードの読み上げ対応ソフトが必要です)
- スマホで番号を確認できます。(OneDriveの設定が必要です)
- メモを2枚、画面に貼ることが出来ます。
- 操作卓PCの一部に患者用画面が縮小表示されます。(右図の矢印)
(縮小表示はモニター1台の**お試しモード**では番号・コメントを表示しません)
- チャイム音をユーザーが追加できます。
(前述のPCの設定を参照ください)



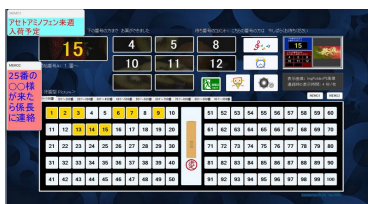
- 表示数オーバーで表示されない数字があると追加型、待ち番型で警告をだします。
追加型の番号表示仕様
追加型は番号を次のように表示します。「2番までできました。さらに4番5番・・・もできています。」ただし追加番号を表示する小さい枠は8個しかありません。もしも8個をオーバーした場合は小さい番号が優先され、大きい数字は表示されません。
◎ 8個をオーバー時の具体例
下図で3番の黄色ランプが点灯しておらず、1番から見て最初の未完成番号となります。
4番～12番は完成しており**追加番号**となります。故に2番が大きい枠、4～12番が小さい枠8個に小さい番号優先で入ります。この場合11番(矢印B)で枠8個がいっぱいとなり**12番**(矢印A)は表示されません。するとオレンジの背景で警告をだします。(矢印C)患者画面。
矢印Dは矢印Cの拡大図です。「12以上の番号は表示されません」と表示されています。
もしも開始番号を1001番～としていれば「1012番以上の番号は表示されません」と警告が出来ます。同様に待ち番型でも表示されない番号がある場合は**警告**をだします。

右図は追加型:



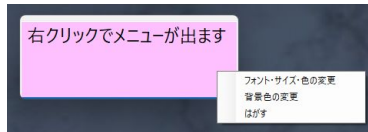
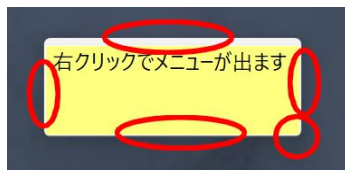
・メモ機能について

全ての操作タイプでメモを画面に貼れます。伝達事項や注意事項を共有する手段として使って下さい。画面に貼ったメモは以下の機能を有します。

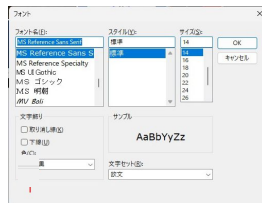


1. サイズが変えられ移動もできます。
2. 位置を保存し次回起動時に再現します。
3. 背景色を変更できます。
4. 文字のフォント、色やサイズを変更できます。
5. 貼ることができるメモは2枚です。

具体的説明



- ・メモの右角や横辺・縦辺を引っ張るとサイズが変わります。
- ・メモのどこを掴んでドラッグしても移動が可能です。
- ・左図の黄色やピンク部分で**右クリック**するとメニューが表示されます。項目は”フォントサイズ色変更” ”背景色変更”、”はがす”です。
- ・右クリックメニューから”フォントサイズ・色の変更”を選ぶと下図-左が表示されます。ここでフォントとサイズの変更が可能です。文字色は更に色ウインドウで選択します。



- ・同様に背景色は右クリックメニューから上図-中央のウインドウで変更が可能です。
- ・**メモを”はがす”**ときはメモの上でマウスを右クリックし表示した**メニューから”はがす”**を選びます。
- ・メモの起動は操作卓にあるボタン”MEMO1””MEMO2”を押します。(上図-右)
- ・各ボタンに1枚のメモが対応し計2枚のメモが貼付できます。
- (注意)・メモは患者用画面にも移動できます。はみ出ないように注意してください。
- ・読み上げソフト使用時はコピーに注意してください。読み上げる可能性があります。
- (メモを書く際に「Ctrl+A」や「Shift + 矢印」、「Ctrl+C」、「Ctrl+V」でコピー等が使えます。)

【使用方法】 ソフトの起動はKenKenTyuPLUS260G1.exeをダブルクリックします。

●待ち番型の操作 <図1><図2><図3>

待ち番型とは、出来上がった最大番号と、その内でまだできていない番号を表示します。

例 「8番までできました。ただし4番6番の方はお待ちください」

番号の操作は下図1の操作卓で行い、その結果を図2で患者様にお知らせします。

<図1>
操作卓画面



<図1>①引換え番号の始まる番号を表示しています。開始番号は1000番単位で設定可能です。

<図16>⑨を参照ください。開始番号が3001番の場合、1番のボタンが3001番となります。

<図1>②患者用画面の上段に表示されるコメントで<図2>⑮になります。図1-⑫から変更可能

<図1>③患者用画面の下段に表示されるコメントで<図2>⑰になります。図1-⑫から変更可能

<図1>④出来上がった最大の番号です。

<図1>⑤待ち番号です。上図では「25番まで出来たけど⑤に表示した番号は待つて！」という意味で待ち番号は大きいものから取得され、8個を超える場合は小さい番号から削られます。

<図1>⑥タグごとに100個のボタンを配置しており計1000個のボタンがあります。開始番号①と組み合わせれば最大9999番まで表示可能です。

<図1>⑦出来上がった番号のボタンを押すとサーモン色になり再度押すと取り消します。

<図1>⑧「ハンコのイラスト」は決定ボタンです。出来上がった番号を押した後はこの決定ボタンを押す必要があります。

<図1>⑧を押すとボタン⑦は黄色に変わり④⑤②④と患者用モニタ<図2>⑰②④へ反映します。

患者用画面で<図2>⑰②④に変更があった場合、その番号のみを点滅するようにできます。

その方法は点滅の回数を設定⑫で行います。<図16>⑥

<図1>⑨「音符のイラスト」でチャイムを鳴らします。番号に更新がある場合は自動で鳴りますが手動で鳴らしたい時はこのボタンを押します。

<図1>⑩「時計のイラスト」は待ち時間を表示したい場合に押します。クリックすると新しいウィンドウ<図3>が現れるので該当する時間を選択し決定を押します。これで患者用画面に待ち時間が表示され<図2>⑰、操作卓にも待ち時間が表示されます。

<図1>⑪引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定<図16>②⑤で文章の登録が必要です。

詳細は「その他のインストール関連」を参照下さい。

<図1>⑫「歯車のイラスト」は各種設定を行います。詳細は設定<図16>を参照ください。

<図1>⑬患者用画面<図2>⑲でスクロールする文を表示しています。

スクロール文は⑫の設定から変更可能です。<図16>②③

<図1>⑭で終了します。

<図1>⑮患者用画面を縮小して表示します。「決定」⑧と「待ち時間」⑩が押されたときに更新されます。この機能はモニター1台のお試しモードでは番号コメントは表示されません。

数字が点滅中に決定ボタンを押すとうまくキャプチャーできない場合があります。

<図1>⑯ 画面にメモを貼ります。詳細は前述の「その他の機能や特徴」を参照ください。

＜図2＞
患者用画面



＜図2＞①⑦設定でスマホで確認するを選んでいる場合、この画面が更新されるたびに日時を再表示します。スマホで確認をしない場合は表示されません。
患者用画面＜図2＞②①で操作卓画面に戻ります。このボタンはモニター1台のお試しモード時だけ表示されます。
＜図1＞⑤＜図2＞②①に表示する番号が8個を超えた場合、**大きい数字を優先**し表示するため小さい数字は表示されません。このような場合「～以下の待ち番号は表示されません」と操作卓に**警告**がでます。

＜図3＞ 待ち時間選択画面



●追加型の操作 ＜図6＞＜図7＞

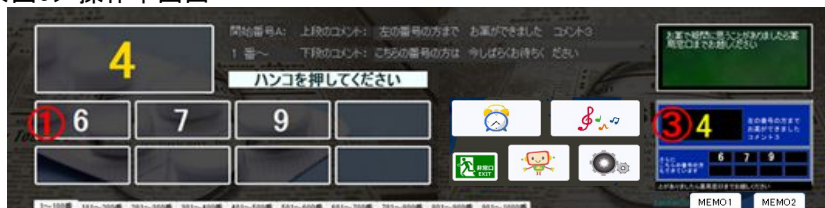
追加型とは、1番からみて初めて不連続になる直前の番号を最大の出来上がりの番号とし不連続番号より大きい出来上がり番号を、さらに出来ている番号として追加します。

例「4番までできました。さらに6番7番・・・もできています」画面表示は下図＜図6＞＜図7＞
操作に関しては「待ち番型」と同様です。前述の「待ち番型」を参照ください。

＜図6＞①＜図7＞②に表示される「追加番号」は小さいものから取得され、8個を超える場合は大きい番号から削られます。このような場合、「～以上の番号は表示されません」と警告がでます。**詳細は「その他の機能や特徴」を参照**ください。

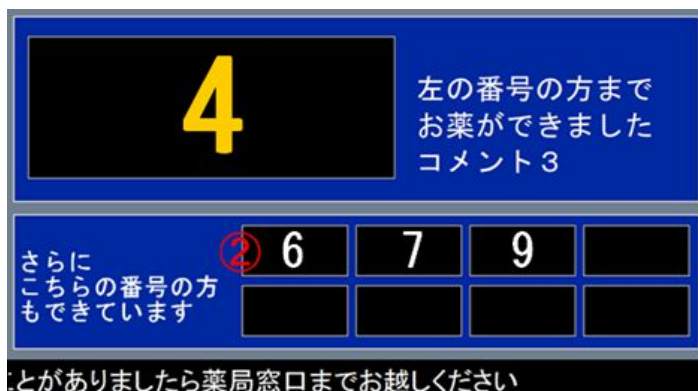
＜図6＞③は患者用画面の縮小画像です。

＜図6＞操作卓画面





＜図7＞患者用画面



●手動型 ＜図10＞＜図11＞＜図12＞

待ち番号や追加番号を見つけ出すことはしません。入力した番号を表示します。

ただし、ソートの有無を設定することができます。＜図16＞⑦

コメントを変えれば待ち番型や追加型にもなります。下段のコメントを窓口への呼び出し番号に変えるなどして会計窓口などでも使えるかもしれません。

【補足1】患者用画面に表示するには「掲示板に反映」ボタン＜図10＞⑤を押す必要があります。

操作卓で確認した後に患者用画面に表示という手順をとっています。

数字の間違いに気づいた場合は、**ゼロを入力すると枠は空欄になります。**

＜図10＞①②の表示桁数は4桁で、それ以上を電卓＜図10＞③で入力しても削られます。

入力はマウスでボタンをクリックするかキーボードで入力することが可能です。

以下は対応キーです。

1～9 キーボードの1～9に対応

+C キーボードの+またはCに対応 機能としてはクリア

-BS キーボードの-またはBackSpaceに対応 機能としては右側から1文字削除

キャンセル キーボードのESCに対応

決定 キーボードのEnterに対応

矢印キー(↑→←↓)に対応 機能は入力対象となるボタンを選択する際に枠を移動する。

【補足2】電卓がアクティブな状態では電卓以外のボタンは押しません。

＜図10＞①②のボタンをマウスや矢印キーで選択すると背景が茶色に変わり、電卓＜図10＞③がアクティブになります。電卓＜図10＞③も数字をマウスでクリックするか実物のキーボードで操作します。数字を入力すると電卓内の「決定」の文字と画面中央に「決定を押して」の文字が点滅します。「決定」後、「掲示板に反映」が点滅しますが、**かまわず続けて番号入力が可能です**。＜図10＞⑤「掲示板に反映」押すと＜図10＞①や②に入力した番号を患者モニターに反映します。反映すると朱色の背景は黒に変わります。手動型ではソートの有無を指定できます。設定画面＜図16＞⑦で設定できます。ソートの有無にかかわらず＜図10＞②の枠内にある空白は削られ左詰めされます。ソート有りの場合は小さい順、ソートなしの場合はそのまま左詰めされます。

「消しゴム」のイラスト＜図10＞④は一括クリアボタンです。このボタンを押すと＜図10＞①と＜図10＞②の数字の全てがクリアされ患者用画面にも反映されます。**個別にクリア**にするときは＜図10＞①や②のボタンに**電卓で0を入力**して下さい。番号に変更があるとチャイムが鳴ります。手動で鳴らすときは＜図10＞⑥「音符のイラスト」を押す必要があります。＜図10＞⑦「時計」のイラスト：待ち時間を表示する場合に使用します。＜図10＞⑧「歯車」のイラスト：各種設定を行います。詳細は＜図16＞＜図10＞の左下隅に患者画面の縮小画像が表示されます。ただし画面1台のお試しモードの場合は番号・コメントが表示されません。＜図10＞⑨入力モードの状態です。背景色茶色にinputの文字が表示され電卓＜図10＞③がアクティブになります。マウスで直接＜図10＞⑨をクリックするか、矢印で黄色い枠を＜図10＞⑨に合わせEnterキーで入力モードにします。＜図11＞に黄色い枠を表示します。

＜図10＞ 操作卓画面



上の＜図10＞⑨は入力モードの状態です。入力モードでは背景茶色にinputの文字が表示され電卓＜図10＞③がアクティブになります。マウスで直接＜図10＞⑨をクリックするか矢印で黄色い枠を＜図10＞⑨に合わせEnterで選択する必要があります。次に数値入力となります。前述の【補足1】【補足2】を参照ください。右の＜図11＞に黄色い枠のアップ画像を示します。＜図10＞⑩ 画面にメモを貼ります。詳細は前述の「その他の機能や特徴」を参照ください。

＜図10＞⑪引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定＜図16＞⑫で文章の登録が必要です。詳細は「その他のインストール関連」を参照下さい。

＜図11＞



注意:

お試しモード(1画面)で患者画面から操作画面に戻ると上記の<図10・図11>で説明した黄色い枠が矢印で移動しません。もちろんマウスでの指定は可能ですし、一度でもマウスをクリックすれば矢印が使えるようになります。何度も改善を試みましたが、修正できませんでした。ただこの症状はお試しモードのみであり本来の2画面で使用した場合は問題ありません。ご了承ください。

<図12> 患者用画面



●設定 <図16>

- ・<図16>①操作卓タイプを選択します。反映にはソフトの再起動が必要です。
- ・<図16>② 患者用画面の最下段に表示されるスクロール文の選択をします。
- ・<図16>③ スクロール文の編集は直接編集が可能です。改行は不可です。
- ・<図16>④ スクロールの速度の設定です。
ここでの停止はスクロールが必要のない短い文章のときなどに使用できます。
- ・<図16>⑤患者用画面の「下の番号までお薬ができ～」などのコメントを設定します。
コメントは編集が可能です。操作卓により文字数や表示部分が異なるため注意が必要です。
- ・<図16>⑥番号に変更があったときの点滅回数を設定します。(点滅は患者用画面のみ)
0回から9回まで設定でき、この回数は保存されます。0回は点滅なしです。
- ・<図16>⑦番号のソートの有無を設定します(手動型系の操作卓でのみ有効)
- ・<図16>⑧音を選択。ただしchime10、chime20はユーザー様で用意が必要です(WAVのみ)
音源はchime10.wav、chime20.wavの名称でKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置きます。
なお、このマニュアル序盤の「PCの設定」も参照ください。
- ・<図16>⑨と⑩で開始番号を設定します。開始番号AとBの反映には再起動が必要です。
開始番号AとBは1000番単位の設定となりますので、ここで「1001番～」を選んだ場合はボタンの「1」が1001番になります。
2系統の番号管理ができる操作タイプでは、開始番号が2系統あります。
<図16>⑨は2系統操作卓の上段、<図16>⑩は下段の開始番号設定になります。
- ・<図16>⑪と⑫も開始番号を設定しますが上記と異なるのは、こちらは一括出来上がりとして処理することです。(100番単位での処理)
例えば朝の業務開始が1501番スタートの場合、開始番号Aを1001番～とし再起動。これでボタン「1」は1001番となります。次に開始番号Cで「500番まで」を選び決定すると1～500番を一括で出来上がりとなりますので、ボタンを500回押す必要がありません。
設定は保存されますが開始番号Cと開始番号Dの反映には決定ボタンを押す必要があります。(再起動不要)
2系統の番号管理ができる操作タイプでは、開始番号が2系統あります。
<図16>⑪は2系統操作卓で上段、<図16>⑫は下段の一括出来上がり処理になります。
- ・<図16>⑬連続して画像表示する場合の画像1枚当たりの表示時間を選択します。
これは連続画像を表示する操作卓でのみ有効です。
- ・<図16>⑭患者用画面に表示する画像をinfopic10.jpg～ infopic30.jpgのなから選択します。
この画像ファイルはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所にある必要があります。
選んだ画像ファイルが無くてもエラーにはなりません。(表示されないだけ)
標準でサンプルを添付しましたが原則ユーザー様が作成してください。
前半の【その他のインストール関連】でも説明しているので参照ください。
- ・連続で画像を表示する場合は imgFolderフォルダの中に画像データ(jpg)をいれます。
更に設定画面で「フォルダ内画像」を選べばファイル名の昇順で繰り返し表示されます。
注意:imgFolderフォルダはKenKenTyuPLUS260G1.exe と同じ場所に置く必要があります。
マニュアル前半の【その他のインストール関連】でも説明しているので参照ください。

<図16>

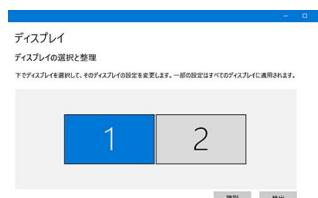


- ・<図16>⑬通常は番号1のまま変更する必要はないと思いますが操作PCモニターの識別番号が原因で患者用画面を表示できない場合に操作します。

(参考) Windowsではモニターが2つ以上あると各々のモニターに番号が振られます。

Windowsのディスプレイ設定で確認ができます。(右図)
大抵は番号1のモニターがメインモニターで、番号2のモニターがセカンダリーになるのですが、PC機器の構成によっては逆になる場合があります。

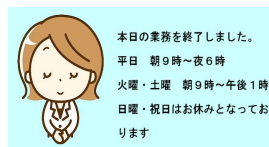
メインモニター 番号2
セカンダリーモニター 番号1 となる場合があります。



本ソフトは操作卓を番号1に表示することを標準としているため、通常と逆で操作卓が番号2の場合、患者画面と重なってしまい番号1のモニターには何も映りません。
このような場合<図16>⑬で操作PCの識別番号を「番号2」に変えると改善されます。
注意: 反映にはソフトの再起動が必要です。

- ・<図16>⑭ スマホで確認を「しない」「する」を選択できます。
スマホで確認とは、番号案内の患者用画面をキャプチャーしてネット上に公開します。
モニター1台での**お試しモードではこの機能は使えません**。
スマホで確認はOneDriveを使っていますのでマイクロソフトアカウントが必要です。
OneDriveの設定関連はマニュアルの最後半に**参考**として記載しております。
- ・<図16>⑮で指定したフォルダに患者用画面をキャプチャーして「番号案内.jpg」の名称で書き出します。また患者用画面に更新日時を表示します。例:<図2>⑰
操作卓の決定ボタンまたは「掲示板に反映」ボタンを押すたびに更新日時を再表示してキャプチャー画面を指定のフォルダに書き出します。

・スマホで確認するを選んでいる場合、本ソフト終了時にカラーパターンを指定のフォルダにコピーします。
実行ファイルKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所にあるdirection_board.jpgを「番号案内.jpg」にリネームしてコピーしているのですが、これは業務終了後にネット上に引き換え番号を表示しないためです。
この機能が不要でも変更はできませんが画像を自作すれば内容を変えることが可能です(参考例:右図)



本日の業務を終了しました。
平日 朝9時～夜6時
火曜・土曜 朝9時～午後1時
日曜・祝日はお休みとなっております
ります

変更は実行ファイルと同じ場所にある direction_board.jpgを書き換えればOKです。
画像名は変更できません。direction_board.jpgは本ソフト起動の必須条件としているので名前の変更や削除はできません。

- ・<図16>⑮で指定したフォルダに番号案内の画面を書き出します。
キャプチャー画面を「番号案内.jpg」の名称で書き出しOneDriveの同期を使ってネット上に公開しています。
指定したフォルダが存在しない場合やC:¥を指定した場合はKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に変更されます。
OneDriveの設定はマニュアルの最後半に記載しております。

- ・<図16>⑯キャンセルを選ぶと保存せず操作画面に戻ります。変更はキャンセルされます。決定で保存します。

- ・<図16>⑰ 患者用画面の解像度をWindowsでセットします。(右図上) 次に患者用画面をWindowsで「画面を拡張する」にして下さい。
次に本ソフトで設定を行います。(右図下)
Windowsで設定した解像度と同じ解像度を選びます。
1280x720または1366x768を選んでください。
反映には本ソフトの再起動が必要です。



- ・<図16>⑱ 患者用画面の配色を変更します。
下図の3種類から選択できその設定は保存され次回起動時にも反映されます。
「手動型4分割」でフォーム配色は無効です。代わりに<図16>㉑で設定が可能です。



- ・<図16>⑲⑳は⑨⑩で説明していますので参照ください。
- ・<図16>㉑ 「手動型4分割」で番号入力・静止画・連続画像・動画の配置を設定します。
番号入力で背景色を設定できます。番号を選んでいないと背景色を選択できません。
番号入力で表示されるコメントは<図16>⑤で設定します。コメントは(1)～コメント(4)までを使用し4分割の各々に対応します。
番号入力は4分割の全ての場所で選択可能で、全ての場所を番号にすることも可能です。
静止画ではinfopicA.jpg～Cの画像を設定します。infopicA.jpg～Cは自作ができます。【その他のインストーラ関連】も参照ください。静止画を選んでいないと表示画像を選択できません。
静止画は全ての場所で選択可能で、全ての場所を静止画にすることも可能です。
動画は右下の場所에만配置可能です。
連続画像はすべての場所で選択できますが、配置は4ヶ所のうち1ヶ所にだけに限られます。
- ・<図16>㉒ チャイム音の先頭が欠ける症状の対策ソフトの起動を設定します。
チャイムが遅延する場合にも効果があるかもしれません。(デフォルトは起動する)
設定を”する”にすると番号案内ソフトの起動時にSilentPlayerKKTも立ち上がります。
また、番号案内ソフトを終了するとSilentPlayerKKTも終了します。
設定変更時には反映するために番号案内ソフトの再起動が必要です。
SilentPlayerKKT21.exeとsilent.wavはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置く必要があります。
【注意】SilentPlayerKKT21.exeを**スタートアップに登録しない**で下さい。
- ・<図16>㉓ 音符のボタンを押すとチャイムが鳴ります。チャイムの音量調節時に利用下さい。
- ・<図16>㉔ スピーカーのボタンを押すと音量ミキサーが開きます。音量調節が可能です。
設定ウインドウの後ろに隠れる部分がありますが音量調節は可能だと思います。
- ・<図16>㉕ 引き換え番号の読み上げのための設定です。



読み上げには棒読みちゃんのようなクリップボードの読み上げ対応のソフトが別途必要です。
詳細は「その他のインストール関連」を参照して下さい。

●待ち番型Picの操作 <図17><図18><図19>

前述の待ち番型と操作はほぼ同じです。違いは患者用画面の右半分に単独画像や連続画像を表示可能です。なおスクロール文は使えません。

<図17>① 単独画像表示の場合はファイル名、連続表示の場合は”infoFolder内の画像”が表示され1枚当たりの秒数が表示されます。(単独画像表示の場合、秒数は無効)

<図18>②のように患者用画面に画像が表示されます。

仕様の詳細や画像を自作する場合は【**その他のインストール関連**】も参照ください。

<図17>③に患者用画面が縮小され表示されます。ただしお試しモードでは番号・コメントは表示されません。画像は表示されます。

<図17>④画面にメモを貼ります。詳細は”その他の機能や特徴”を参照ください。

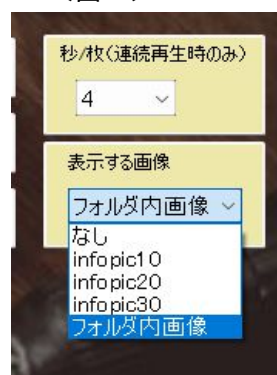
<図17> 操作卓画面



<図18> 患者用画面



<図19>



右の<図19>は設定画面の一部<図16>⑪⑫です。
ここで画像表示秒数や表示する画像を選択します。

- ・表示する画像は1280x1400ドットまたはこの比率の画像だと隙間なく表示されます。(jpgのみ)
- ・infopic10.jpgと infopic20.jpgと infopic30.jpg を KenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置けば

単独画像(同じ画像を継続して表示)として表示できます。
無くてエラーにはなりません。(表示されないだけ)
今回はサンプルを添付しましたがユーザー様が作成可能です。ファイル名は変更できません。

- ・連続で画像を表示したい場合はimgFolderフォルダの中にjpg画像ファイルをいれます。
設定画面で”フォルダ内画像”を選べばフォルダ内の画像をファイル名の昇順で繰り返し表示します。
注意:imgFolderフォルダはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置く必要があります。
サンプルを付けました。サンプルは私が撮影したのですがユーザー様の作成が可能です。
表示する画像は1280x1400ドットまたはこの比率の画像だと隙間なく表示されます。

- 追加型Picの操作 <図21><図22>
追加型の意味や操作は前述の<追加型>と同様です。参照ください。
追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。参照ください。
Picture表示に関しては<待ち番型Pic>と操作は同様です。参照ください。

<図21>操作卓画面



<図22>患者用画面



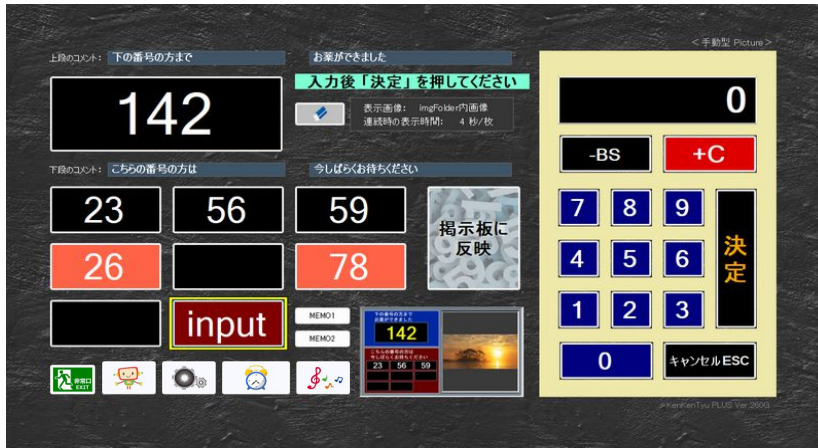
●手動型Picの操作 <図23><図24>

手動型の操作は前述の<手動型>と同様です。参照ください。

矢印キーの操作は<図10><図11>も参照ください。

Picture表示に関しては<待ち番型Pic>と操作は同様です。参照ください。

<図23> 操作卓画面



上図のように下部中央に患者画面のプレビューが表示されます

<図24> 患者用画面



●待ち番型Videoの操作 <図25><図26>

前述の待ち番型と操作はほぼ同じです。違いは患者用画面に動画を表示します。<図26>④
操作卓にも縮小動画を表示します。<図25>①

mp4Videoフォルダに入れた動画を複数または単独でもループ再生します。

動画は原則自作する必要があります(著作権などの問題がない場合を除く)

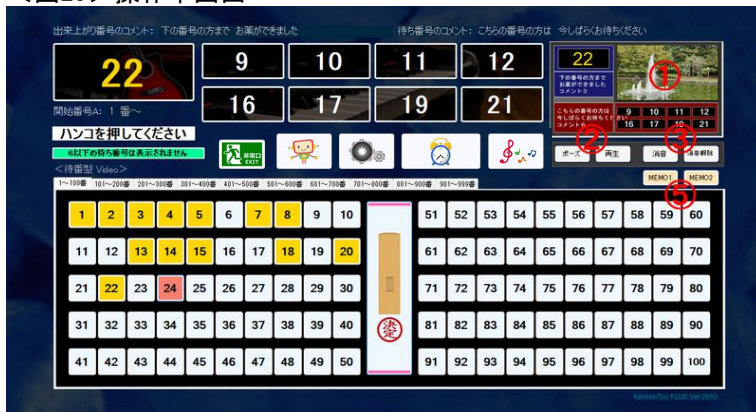
動画を自作する場合は【その他のインストール関連】をご覧ください。

<図25>②にはポーズ、再生ボタンがあります。ポーズボタンを押すと動画が停止しピンクに変わります。再生再開には再生ボタンを押します。

<図25>③は消音と音声出力ボタンです。消音ボタンを押すと音声が消えボタンが緑色に変わります。音声出力ボタンで音声が出ます。

<図25>⑤画面にメモを貼ります。詳細は”その他の機能や特徴”を参照ください。

＜図25＞操作卓画面



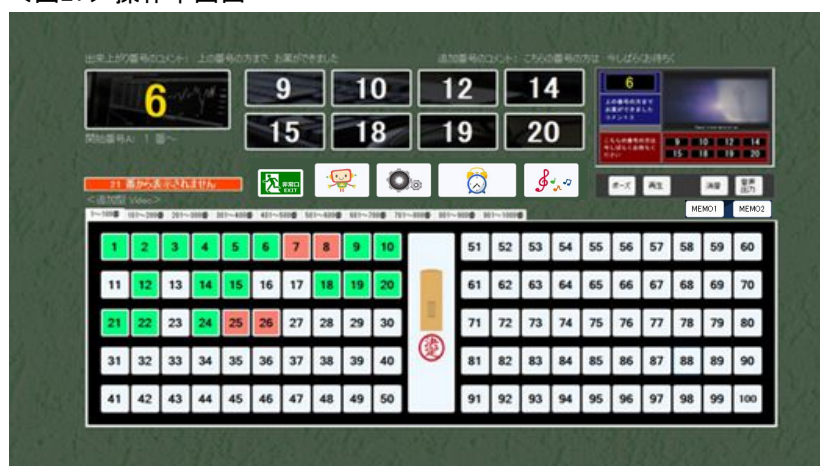
＜図26＞患者用画面



●追加型Videoの操作 ＜図27＞

追加型の意味や操作は前述の＜追加型＞と同様です。参照ください。
追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。参照ください。
Video表示に関しては＜待ち番型Video＞と操作は同様です。参照ください。

＜図27＞操作卓画面



●手動型Videoの操作 <図28>

手動型Videoの操作は前述の<手動型>と同様です。参照ください。
Video表示に関しては<待ち番型Video>と操作は同様です。参照ください。
矢印キーの操作は<図10><図11>も参照ください。

<図28>操作卓画面



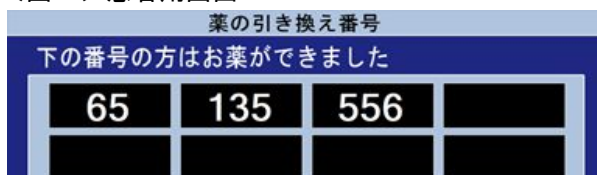
●手動型16窓の操作 <図29><図30>

手動型16窓の操作は前述の<手動型>とほぼ同様です。
表示窓が16個になっただけです。操作は<手動型>を参照ください。
矢印キーの操作は<図10><図11>も参照ください。
大窓小窓の区別がないこの操作卓は、音声読み上げの設定を図16-②⑤で行うとき大窓の文章として登録します。小窓の文章は読み上げに使いません。

<図29>操作卓画面



<図30>患者用画面





●待ち番型(2系統)の操作 <図31><図32>

上段と下段で2系統の番号を管理できます。基本的には1系統の操作卓と同じ操作です。

開始番号は設定ボタンから設定でき、<図31>①②に開始番号を表示します。

設定方法は<図31>⑦から行いますが、詳しくは<図16>⑨⑩を参照ください。

1000番単位で設定が可能です。

また開始番号を100番単位で設定する必要がある場合は”一括出来上がり”を行う必要があります。その方法は<図16>⑩⑪を参照ください。

<図31>②では下段を開始番号Bを1001番～に設定しているので1番は1001番に相当。

<図31>③で上段の待ち時間を入力した場合は<図32>④の様に表示されます。

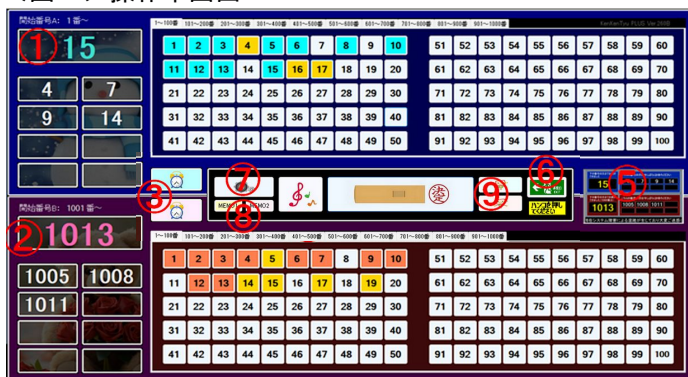
<図31>⑤ 縮小した患者用画面です。

<図31>⑥でプログラム終了します。

<図31>⑧画面にメモを貼ります。詳細は”その他の機能や特徴”を参照ください。

<図31>⑨引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定<図16>⑮で文章の登録が必要です。詳しくは「その他のインストール関連」を参照下さい。

<図31>操作卓画面



<図32>患者用画面



迷惑をおかけしております。早期復旧に向け対応中で

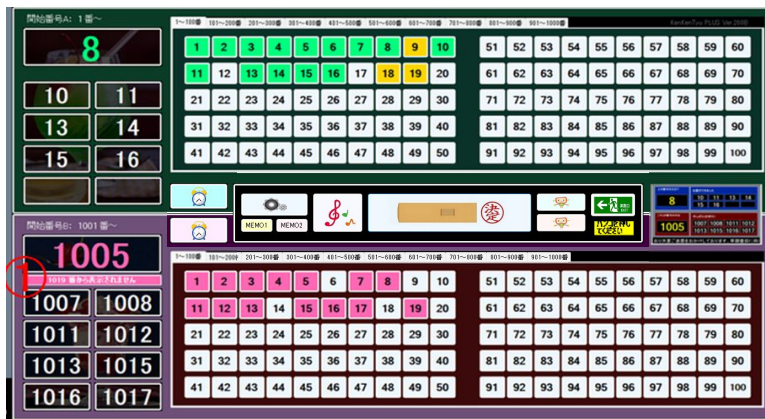
●追加型(2系統)の操作 <図33><図34>

基本的操作は「待ち番型」(2系統)と同様です。開始番号の設定なども同様です。

追加型<図6>も参照ください。

追加番号の表示オーバーについても追加型と同様です。<図33>①
番号ボタンを押すと「決定を押してください」の文字が点滅します。

<図33> 操作卓画面



<図34> 患者用画面



●手動型(2系統)の操作<図35>

待ち番号や追加番号を計算して見つけ出すことはしません。<図35>②のボタンに入力した番号は空白を詰めて表示します。

ソートの有無を設定できます。方法は前述の設定の<図16>⑦を参照ください

【注意】患者用画面に表示するには必ず「掲示板に反映」ボタンを押す必要があります。

操作卓でよく確認した後に患者用画面に表示するという手順にしています。

＜図35＞①②に入力可能な数字は4桁までです。それ以上入力しても削られます。
 ＜図35＞①②のボタンを押すと背景が朱色に変わり電卓＜図35＞③が有効になります。
 電卓内の決定の文字が点滅し、画面中央に「入力後決定を押して」の文字が点滅します。
 電卓＜図35＞③は数字をマウスでクリックするか実物のキーボードを押して操作します。

以下は対応キー

1～9 キーボードの1～9に対応

+C キーボードの+またはcに対応(cは小文字) 機能としてはクリア

-BS キーボードの-またはBackSpaceに対応 機能としては右側から1文字削除

キャンセル キーボードのESCに対応

決定 キーボードのEnterに対応

矢印キー(↑→←↓)に対応 機能は入力対象となるボタンを選択する際に枠を移動する。

【補足】電卓がアクティブな状態で電卓以外のボタンは押せません。

矢印の操作については＜図10＞＜図11＞も参照ください。

電卓の決定ボタンを押すと画面中央の「掲示板に反映」の文字が点滅しますが、ここで

＜図35＞①や②のボタンを押せば、続けて入力も可能です。

「掲示板に反映」を押すと＜図35＞②内に表示された番号を患者用モニター＜図36＞に反映します。朱色の背景は黒に変わります。

＜図35＞②の枠内に入力する際、空白があってもかまいません。「掲示板に反映」を押せば空白はソートの有無にかかわらず削除されます。

ソート有の場合は小さい順に整列され、ソート無しの場合はそのまま表示されます。

一括クリアボタン＜図35＞④を押すと＜図35＞①と②のボタン全部がクリアされ患者用画面にも反映されます。このとき音は出ません。

個別にクリアするには＜図35＞①や②に**0**を入力します。

原則、番号に変更があると自動でチャイムが鳴ります。

手動で鳴らすときは「音符のボタン」を押す必要があります。

＜図35＞⑥にあるコメント「下の番号～」は設定＜図16＞⑤の(1)～(4)で可能です。

スクロール文は設定から変更可能です。＜図16＞②で選択 ＜図16＞③で文章＜図16＞④でスピードが設定可能です。

＜図35＞⑦待ち時間を設定します。上下段の各々に設定可能です。

患者用画面では＜図36＞⑧です。

＜図35＞⑩画面にメモを貼ります。詳細は”その他の機能や特徴”を参照ください。

＜図36＞⑨患者画面が更新された時間を表示します。これはスマホ通知するときに表示されます。

＜図35＞⑪引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定＜図16＞⑮で文章の登録が必要です。

詳細は「その他のインストール関連」を参照下さい。

＜図35＞操作卓画面



＜図36＞患者画面



●手動型(4分割)の操作＜図37＞

画面を4分割して各々に番号の入力、静止画表示、連続画像、動画を配置できます。

番号の入力は①の背景黒の部分をクリックすると電卓が表示され入力後に決定を押すと「掲示板に反映」⑤が点滅します。これを押すと患者用画面に反映されます。

＜図37＞⑮時計をクリックすると待ち時間を表示できます。

＜図37＞⑰コメントは設定＜図16＞⑤でセットでき＜図16＞⑤のコメント(1)～(4)が対応します。

コメント(1)→左上＜図40＞A、コメント(2)→右上＜図40＞B、

コメント(3)→左下＜図40＞C、コメント(4)→右下＜図40＞D に対応します。

＜図37＞⑪ 設定してある番号のすべてをクリアします。

＜図37＞⑫ チャイムを鳴らします。

＜図37＞⑬ 設定画面＜図16＞を開きます。

＜図37＞⑭ 終了します。

＜図37＞⑰⑱ 画面にメモを貼ります。詳細は「その他の機能や特徴」を参照ください。

＜図37＞⑳引き換え番号をテキストにして読み上げします。読み上げには別途、棒読みちゃんのような読み上げソフトが必要です。また設定＜図16＞㉔で文章の登録が必要ですが大窓小窓の区別がないこの操作卓は、音声読み上げの設定を図16-㉔で行うとき大窓の文章として登録します。小窓の文章は読み上げに使いません。

詳細は「その他のインストール関連」を参照下さい。

静止画②は設定＜図16＞㉑で選択したinfopicA.jpg～Cの画像を表示します。

infopicA.jpg～CはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所にある必要があります。

infopicA.jpg～Cは自作が可能です。解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)にすると隙間なく表示されます。

表示領域に合わせて拡大縮小しますが上記比率でない場合、隙間を黒背景にします。

画像はjpgである必要があります。

連続画像表示＜図37＞③を配置するにはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置かれたimgFolderフォルダ＜図38＞Aのなかに画像ファイルを入れ、このソフトの設定＜図16＞㉒で連続画像を指定する必要があります。

4ヶ所どこでも連続画の選択ができますが、配置は1ヶ所にしかできません。

連続再生時の1枚あたりの表示時間は＜図16＞⑪で設定します。＜図37＞⑨

画像は解像度が1000x480ドットまたはこの比率(W/H=2.08)だと隙間なく表示されます。

画像は自動で拡大縮小されます。比率が(W/H=2.08)でない場合は黒い背景が入ります。

再生はimgFolder内のファイル名の昇順にループ再生されます。

再生可能な画像形式はjpgのみです。

＜図37＞操作卓画面



動画＜図37＞④の配置にはKenKenTyuPLUS260G1.exeと同じ場所に置かれたmp4Videoフォルダー＜図38＞Cの中に動画ファイルを入れ、このソフトの設定＜図16＞②で動画を指定する必要があります。その際、配置する場所制限があります。

動画は右下の場所＜図37＞④にしか配置できません。

動画はmp4ファイルが再生対象になり、mp4Videoフォルダ内の動画がファイル名の昇順にループ再生されます。

＜図37＞⑥ 動画を一時停止します。このボタンは動画を配置している場合のみ有効です。

＜図37＞⑦ 動画の消音をします。このボタンは動画を配置している場合のみ有効です。

操作卓と患者用画面には同じ動画が再生されますが、音声は患者用画面の音声を再生しています。操作卓の動画と音声にズレが生じる場合があります。

＜図37＞⑧ スクロール文を表示されています。

スクロール速度に停止が追加されました。＜図16＞④

＜図39＞で設定が可能です。従来どおりスクロールでも構いません。

スクロールの必要のない短い文章や見出しとする場合はご利用ください。

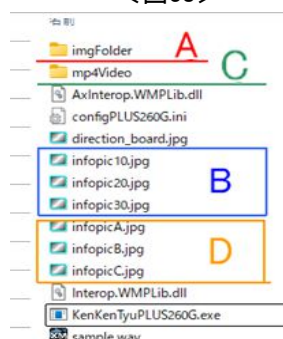
使用例、＜図40＞の「お薬の引き換え番号」の文字を見出しとしています。

＜図39＞ スクロール速度設定を部分抜粋



りましたら薬局窓口までお越しください

＜図38＞



＜図40＞患者用画面



<配置に関して>

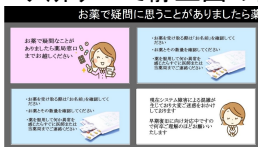
番号入力・静止画・連続画像・動画の配置は設定<図16>②①から行います。

<図41>設定画面から抜粋



動画は1ヶ所にしか配置できません。しかも場所が限定され<図40>Dのみ可能です。
連続画像は<図40>ABCDのどこでも選択できますが配置は**1ヶ所のみ**可能です。
静止画は<図40>ABCDのどこでも選択でき4ヶ所全てに配置できます。
番号入力は<図40>ABCDのどこでも選択でき4ヶ所全てに配置できます。

4ヶ所すべて静止画の例



4ヶ所すべて番号入力の例



すべてを配置した例



●待ち番型 大きい文字の操作 <図42><図43>

患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。

表示可能な番号は4つで、待ち番号は3つしか表示できません。

スクロール文も表示されません。

上下のコメントは各々1行です。設定でコメントを設定可能です。<図16>⑤コメント(1)と(2)
その他の機能は、操作卓「待ち番型」とほぼ同様です。参照ください。

<図42>操作画面



<図43>患者用画面



●追加型 大きい文字の操作 <図44><図45>

患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。表示できるのは4つの番号のみに制限しました。その他の機能は操作卓「追加型」とほぼ同様です。

<図44>



<図45>



●手動型 大きい文字の操作 <図46><図47>

患者用画面の大きな文字を最優先とした割り切った操作卓です。
表示可能な番号は4つで、待ち番号または追加罰b号は3つしか表示できません。
スクロール文も表示されません。
その他の機能は、操作卓「手動型」とほぼ同様です。参照ください。

<図46>



<図47>



●“スマホで確認”関連のセットアップについて

設定<図16>⑭でスマホで確認を「する」にして、設定<図16>⑮でフォルダを指定します。
そのフォルダにスクショした患者用画面を書きだしネットで公開します。
以下では**患者用画面**を「**番号案内.jpg**」の名称で書き出し**OneDrive**で同期共有し公開することを前提にしています。
その概要は以下のとおりです。

本ソフトの操作卓で番号を選択(入力)し「決定」を押す。



引き換え番号を表示した患者用画面のスクリーンショットを撮るようになる。



PCのOneDriveのフォルダにその画像を「番号案内.jpg」の名称で書き出す。

↓ これ以降はOneDriveの機能

Web上のストレージにスクショ画像を同期 (共有しているので誰でも見れる)



患者様がスマホ等でWeb上のストレージを見に行く

【★★ スマホで確認機能を使うにあたり留意いただきたいこと★★】

スマホで確認機能はセキュリティの観点から推奨しません。使用の際は検討を十分に行い自己責任で使用ください。

番号案内画像に共有をかけネット上で誰でも見れるようにするので、くれぐれも**セキュリティに注意をしてください。**

下記のスマホで確認機能の設定例は間違っていたり、問題があったりするかもしれません。

あくまで**参考**としてください。**ご自身で十分検討**してください。

設定例の方法で被害が生じても責任は持てません。自己責任で使用ください。

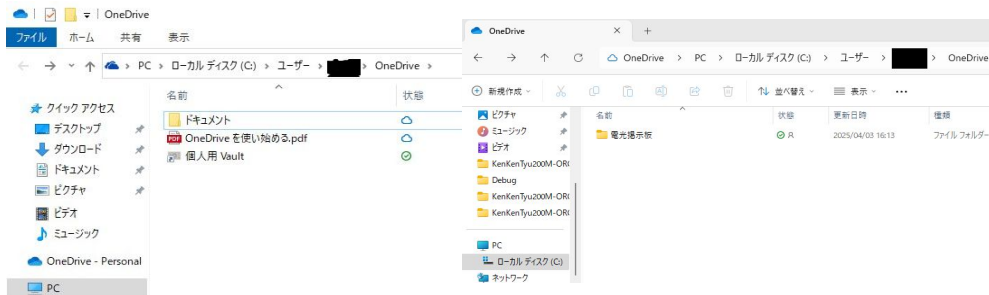
【 参考: スマホで確認機能の設定例 】

まずはOneDrive関連を設定します。
スタートメニューからOneDriveを選択したらOneDriveの設定画面が現れました。
メールアドレス (Microsoftアカウント) を入力しサインインします。

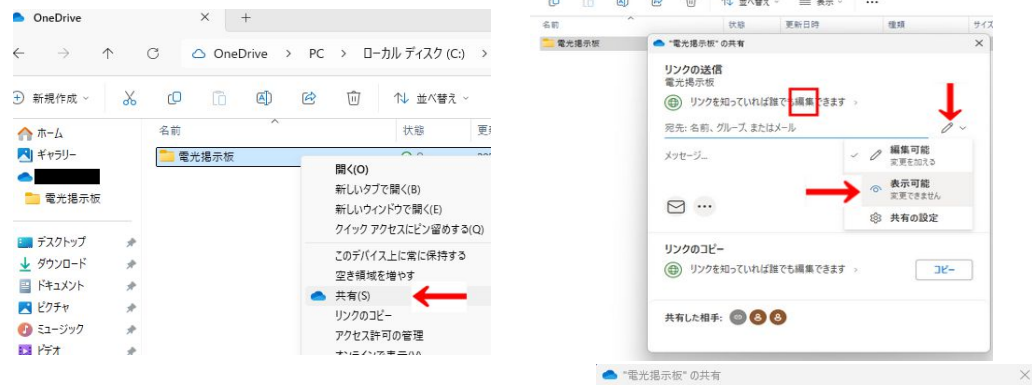




バックアップの設定は全てオフにして「後で行います」を選択しました。
アップグレードは「後で」を選び次の画面では「常に利用可能」を選びました。
モバイルアプリの入手は「後で」を選び「OneDriveフォルダを開く」をクリックすると私の場合は
OneDriveのフォルダに下図左のようなファイルができていました。
全て削除して「電光掲示板」というフォルダを作成しました。下図右



この電光掲示板フォルダをOneDriveで公開するため右クリックから共有を選びます。下図左
下図右の赤線で囲んだ部分が編集になっています。編集ではなく”表示”にしたいので矢印の
鉛筆部分をクリック。プルダウンメニューから”表示可能”を選びます。



右図の赤線部分が”表示”になっていることを
確認し、青線部分が”誰でも”であることを確認
したら「コピー」をクリックします。

* ”表示”の部分が編集だと画像を変更されてし
まう恐れがあります。
もしも右図の青線部分が”誰でも”でない場合は
青矢印部分から変更可能ですが、
アクセスを制限したい場合は”すべてのユーザー”
にする必要はありません。



右図でコピー（赤矢印）をクリックし
メモ帳などにアドレスを保存。
これを使いQRコードを作成します。

これでOneDriveの設定と共有の設定
は終了です。
さらにQRコードを作って、本ソフト側で設定が必要です。

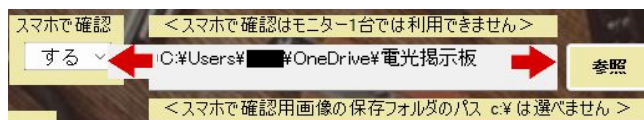
QRコードはツールやWeb上のサイトで作れます。
先ほど保存したアドレスでQRコードを作りOneDrive
の共有ファイルへ誘導します。

注意: QRコードを作るWebサイトの中には**注意が必要**
なサイトがあるようです。
利用の際は、十分気をつける必要があります。



・本ソフト(番号案内電光掲示板)での設定

設定画面の中段に”スマホで確認”という項目があります。＜図16＞^⑭
それを「する」にしてください。
次に参照ボタンで＜図16＞^⑮
このPCのOneDriveフォルダ
内に作った「電光掲示板」
フォルダを選択してください。

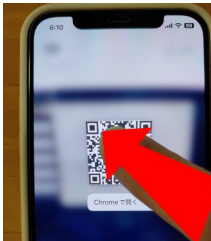


以上で終了です。

補足: QRコードのリンク先にある電光掲示板フォルダを表示するのですが **OneDriveアプリをインストールしている** アンドロイドの場合はOneDriveアプリが起動し画像を表示しようとして
そのためOneDriveに**サインインしていない場合はサインインを要求され** そのためOneDrive
にサインインするまで**先に進めません**でした。
なおiPhoneとOneDriveアプリをインストールしていないアンドロイドの場合はブラウザが起動
し画像が表示されました。
検証が十分でないため、間違いまたは回避方法があるかもしれません。

補足: 自分のスマホに表示したQRコードからリンクにジャンプする方法
・アンドロイドの場合: (いろいろな方法があるようですので一例紹介)

Googleレンズを起動 (右図上 赤矢印)
右図下の赤矢印のようなスクリーンショット
や写真にアクセスできる部分からQRコード
を選択する。
表示されたURLをタップする。



・iPhoneの場合:
QRコードを表示し、QRコードの部分を長押しする。
「開く」をタップする。左図

- ・スマホで確認した画像を載せておきます。

左の写真のサムネイルをタップすると拡大されます。右写真
(アンドロイドのブラウザでリンクを表示した場合)



同様にiPhoneの場合

左の写真のサムネイルをタップすると拡大されます。右写真



番号案内電光掲示板 バージョン履歴

- Ver.0.96 勤め先用に作ったものをVectorアップ用に少し一般化しVBで作成。
- Ver.100 機能限定版としてC#で作成。
- Ver.117 待ち番型の他に追加型に対応、患者用フォームを表示するディスプレイを選択可能にした。モニターの横の解像度で1024ドットの対応はやめた。
- Ver.200 3種の手動型を追加。

- 待ち番型と追加型が2系統の番号管理に対応。開始番号を設定可能。
- Ver.200B 今まで使えなかった番号1000番2000番・10000番のような1000の倍数を使えるようにした。
- Ver.200E 1台のモニターでも起動できるようにし、操作性や機能の確認が可能とした。
(画面が重なり実際の運用は不可。あくまで機能確認用。)
専用スライドショーscrTyu015が起動可能とした。
config200.txtのファイル名をconfig200G.iniに変更。
- Ver.200G 病院の診察用の番号案内と手動型(2系統)を追加
手動型の操作・表記など一部変更
その他、Bug修正 表示方法の一部を変更
- Ver.200G2 開始番号C&D。一括で出来上がり処理ができるようにした。(引換番号の開始番号を100番単位で対応するため)
- Ver.200H 変更のあった番号を点滅可能にした。
- Ver.200H2 手動型で番号入力用ボタンを全9個(大1個 小8個)に増やした。
手動型2系統で待ち時間を表示できるようにした。
細かいバグ取り
- Ver.200H3 手動型系の操作卓で待ち番号のソートの有効無効を設定できるようにした。
2系統型の決定ボタンを上段下段まとめて一つにしました
- Ver.200H3.01 患者用画面において一部、待ち時間の表示場所を変更しました。
- Ver.200H3.02 二重起動を抑制しました。
- Ver.200K1 開始番号C&Dの番号を保存できるようにしました。
画像を表示できる操作卓を3タイプ用意しました。
- Ver.200K2 細かいバグ取り
- Ver.200M1 番号案内をWebで確認できるようにしました。(診察型を除く)
- Ver.200M1.01 待ち番型の患者用画面の変更、待ち時間ボタンの色など。
ソフトが止まる不具合を修正(原因は設定のコメント7~10の改行処理)
- Ver.200M1.02 バグフィックス。マニュアルの訂正。キャプチャーのタイムラグを改善。
- Ver.200M1.02A バグフィックス
- Ver.200M1.02B 患者用モニターの解像度の1280x720専用バージョン。
- Ver.200M1.02AB 患者用モニターの解像度で 1280x720と1366x768の両方に対応。
- Ver.200M1.88 チャイム音の先頭が欠ける問題に対応
- Ver.200M2.22 患者画面の縮小画像を操作卓の一部に表示するようにしました。
チャイムの音欠け対応を設定画面から選べるようにしました。
- Ver.200M2.2SNJ2 待ち番型患者用画面を変更。上段コメントを3行にしてフォントも拡大
- Ver.200M2.2SNJ3 Google Chromeでダウンロード時、何故か「一般的ではないファイル」と警告が出る。Zipやexeのサイズが大きいと誤判定の可能性があるらしい。
scrTyu015添付を中止。silent.wavを小さくし、サンプル画像やpdfファイルのサイズを小さくしました。
- Ver.200M2.2SNJ4 チャイムの音欠け対策ソフトsilent_play.exeが本体プログラムの終了と同時に閉じるようにしました。
一部、患者用画面のフォームを変更しました。
外来診察用の番号案内の使用を中止しました。
プログラムが煩雑になった部分を見直しました。結果、実行ファイルサイズが小さくなりました。
- Ver.200M2.5 追加型の3つのタイプに表示数をオーバーしたときに警告が出るようにしました。
設定で「患者用モニターの識別番号」デフォルト番号2を「操作PCのモニターの識別番号」に変更しデフォルトも番号1にしました。
- Ver.200M3 3画面を使用する追加型の操作卓を追加しました。
表示数をオーバーしたとき、表示されない番号が解るように変更しました。
- Ver.200M3.2 待ち番型も表示数をオーバーしたときに警告が出るようにしました。
止め、Google Chromeでダウンロード時に警告がでる対策として無音再生ソフトの同封をダウンロードした対策ソフトをスタートアップに登録することに変更。
- Ver.200M3.2SP 無音再生ソフトSilentPlayerKKTの同封を再開しました。
- Ver.200M3.3 無音再生ソフトSilentPlayerKKTの内部起動を止め必要に応じ外部ツールとしてSilentPlayerKKTVer.2.0を使用することになりました。SilentPlayerKKTは同封。
- Ver.200M3.3C 手動型-患者用表示板の表示不具合を修正。具体的には小さい四角の7番目

- Ver.200M3.3D このプログラムが起動中はスリープモードへ移行しないようにしました。
このプログラムが起動中はモニターの電源を常時ONにしました。
- Ver.200M3.3F レイアウトやその他。
- Ver.200M3.3G 患者用画面の色調を2色から選択可能にしました。
- Ver.260B KenKenTyuPLUSとしてLight版と統合
操作卓の追加型Type24窓と追加型3画面は廃止
手動型系で入力の際、キーボードの矢印を使えるようにした。
-

番号案内掲示板Light バージョン履歴

- LightVer.1.0 フル版をGoogle Chromeでダウンロード時に警告が出るため、操作卓タイプを3つにしてスリム化し簡易版を作成してみた。
- LightVer.1.01 一部操作卓のフォームデザイン変更。
追加型の表示数オーバーの表示方法を変更。
- LightVer.1.2 Google Chromeでダウンロード時に警告がでる対策としてsilent_play.exeの内部からの起動をやめました。新規にSilentPlayerKKT.exeを作成。
SilentPlayerKKTの同封はせず必要に応じスタートアップ登録に変更。
待ち番型の表示数オーバーの警告機能を追加しました。
- LightVer.1.23 多重起動禁止するプログラムを削除しました。(DL時の警告への対応模索)
- LightVer.1.23B 手動型のフォームデザイン変更と軽微なプログラム変更
SilentPlayer KKTの同封を再開
- LightVer.1.23C 手動型-患者用表示板の表示不具合を修正。具体的には小さい四角の7番目の番号が点滅後に表示されない不具合を修正。
- LightVer.1.23D このプログラムが起動中はスリープモードへ移行しないようにしました。
このプログラムが起動中はモニターの電源を常時ONにしました。
- LightVer.1.23F レイアウトその他。
- LightVer.1.23G 操作卓画面にイラストや画像を多く使用しました。
患者用画面の色調を2色から選択可能にしました。
- LightVer.1.33K 画像表示可能な操作卓を3タイプ追加し計6タイプとしました。
- LightVer.1.50A 動画表示可能な操作卓を3タイプ追加し計9タイプとしました。

- Ver.260B KenKenTyuPLUSとしてフル版と統合
操作卓の追加型Type24窓と追加型3画面は廃止
手動型系で入力の際、キーボードの矢印を使えるようにした。
- Ver.260E 操作卓「手動型4分割」と「大きい文字」3タイプを追加しました。
スクロールスピードに停止を加えました。
追加型Videoの表示不具合を修正しました。
待ち番型、追加型で扱える最大番号を10000から9999にしました。
- Ver.260E-BF 操作タイプ「追加型4分割」の不具合修正しました。
- Ver.260E2 操作タイプ追加型の4種でモニター1台の場合に患者画面が表示されない不具合を修正しました。
再起動が必要な項目の設定変更があった場合、設定画面からソフトを終了可能にしました。
ソースコードの公開を中止。
- Ver.260E3 チャイム音欠け対策ソフトSilentPlayerKKT21を本ソフト内から起動・終了できるようにしました。
- Ver.260G メモ機能を追加しました。
設定画面からチャイムの音量調節ができるようにしました。
音声読み上げに対応しました。
- Ver.260G1 ソースコードを見直しました。機能、外観に大きな変化はありません。